

12月3日のウクライナ情報

安齋育郎

●バイデンに利用され捨てられたウクライナの悲痛(遠藤誉、2022年2月25日)

あまりに残酷ではないか——！

ウクライナをここまで焚きつけて血を流させ、自分是一滴の血も流さずにアメリカの液化天然ガス(LNG)の欧州への輸出を爆発的に加速させることには成功した。

<https://japan-aala.org/old/aala-news/all/101-3.pdf>



※安齋注:安藤誉さんは私より一つ若い社会学者(中国問題の第一人者)で、作家でもあります。中国問題グローバル研究所所長、筑波大学名誉教授、理学博士で、早い時期からウクライナ問題についても活発に発信しています。この論評のはじめの方に出てくる「言うまでもなく、プーチンの軍事侵攻は絶対に許されるものではない」というコメントは舌足らずですが、開戦翌日のコメントゆえ、まあ許すか。

●ウクライナでの家庭内暴力(2022年11月28日)

ウクライナでは停電のため、家庭内暴力が頻発するようになったと、ウクライナのメディアが同国内務省長官のデータを参照して報じている。



●米下院議員の憤懣(2022年11月24日) ※安齋注:ちょっと変な日本語ですが。

火曜日(11月22日)のフォックス・ビジネス・ネットワークの「ケネディ」の放送で、トム・マクリントック下院議員(共和党、カリフォルニア州)は、欧州連合が米国がすでに提供した援助と一致するまで、ウクライナへの援助を支援し続けないと述べた。そして「何年にもわたってウクライナからバイデン家に支払われた数百万ドルは、私たちの外交政策に影響を与えていません。」

マクリントックは、「ウクライナがロシアを打ち負かすか、少なくともロシアに甚大な損害を与えるこ

とができれば、世界中の他の独裁者が隣国を攻撃する前に二度考えることになると感じたので、私はウクライナへの最初の支援を支持した。しかしもちろん、私たちは今それをしました。ウクライナは主にヨーロッパの安全保障問題です。さて、数字を見ると、米国は10月3日までにウクライナに約540億ドルの支援を提供しました...EUには160億しかありませんでした。つまり、彼らは私たちのGDPの約半分を持っています。しかし、彼らは私たちが持っている援助の約3分の1しか与えていません。さて、それが私たちのものではなく、彼らの玄関先で起こっているという事実を考えると。彼らは少なくとも私たちがすでに行ったことと一致する必要があるように私には思えます。だから、それが私の最初の条件になります。そして、私たちのお金がどこに行ったのかを完全に監査する必要があり、ウクライナが主張するように、ウクライナとFTX(仮想通貨取引所)の関係が完全に合法であるという保証が必要であると私は信じています。そして、アメリカ人はまた、何年にもわたってウクライナからバイデン家に支払われた数百万ドルが私たちの外交政策に影響を与えていないことを確信したいと思います。ですから、私は、これらの条件が満たされるまで、別のタイムに投票しません。」



●バイデン政権は、下院共和党が監査について警告しているため、ウクライナ援助で200億ドルを追跡するためにスクランブルをかけます(アンダース・ハグストロム、2022年11月27日)

<https://www.foxnews.com/politics/biden-admin-scrambles-track-20b-ukraine-aid-house-republicans-warn-audits>

バイデン政権は、2月から11月の間にウに送られた兵器のわずか10%しか検査していないと報告されている。

バイデン大統領の政権は、共和党が1月に下院を支配する際に差し迫った監査を警告しているため、ウクライナに送った約200億ドルの軍事援助を追跡するためにスクランブルをかけています。

おそらく将来の下院議長ケビン・マッカーシーは、彼の党はロシアの侵略をかわすためにウクライナに「白紙の小切手」を与えることはないと言った。潜在的な監査は、もしあれば、米国の援助のどれだけが悪意のある人の手に渡っているかを決定するでしょう。バイデン政権の以前の追跡努力は、国に提供された援助のほんの一部しか検査していません。

監視を強化するための共和党の推進は、議会で超党派の支持を享受しています。しかし、一部の頑固なウクライナの同盟国は、党が国への援助を完全に遮断することを恐れています。

ファイアブランドのマージョリー・テイラー・グリーン議員(共和党、ジョージア州)は、ウクライナの支出について「政府に説明責任を負わせる」ことを誓い、通路の向こう側の彼女の同僚の何人かはメツ

ページを繰り返しています。

進歩的な議員は、ウクライナへの侵略を終わらせるためにバイデンに「ロシアとの直接交渉に従事する」よう促します。

「納税者は、投資が意図された場所に向かっていることを知るに値します」と、民主党のジェイソン・クロウ議員はワシントンポストに語った。「どんな戦争でも、物資の失敗や誤った割り当てが発生する可能性があります。」

説明者:汚い爆弾は恐怖とパニックを引き起こすために使用される装置であり、実際にはほとんど死者を出さない

ポスト紙によると、バイデン政権は2月から11月1日の間に米国がウクライナに提供した22,000の武器のわずか10%を検査しており、議員たちは現在の監視努力がひどく不十分であるように見えることに同意しています。

しかし、ヨーロッパの米国の同盟国は、ウクライナ援助に対する共和党の懐疑論が広範な資金削減につながることを望んでいません。

「あなたはプーチンの手に渡るだろう」と英国議会議員のトビアス・エルウッドは10月に言った。「アメリカが撤退すれば、プーチンは敗北の顎から勝利を奪う可能性があります。」

マッカーシーは、経済が不況に陥る恐れがあるため、援助パッケージに対する彼の批判をアメリカの経済状況に基づいてきました。

「人々は不況に陥り、ウクライナに白紙の小切手を書くつもりはないと思います」とマッカーシーは先月言いました。「彼らはそれをしません...それは無料の空白の小切手ではありません。」

それにもかかわらず、ウクライナのアメリカへの資金提供はバイデンの下で主に超党派であり、多くの共和党员は、何らかの形で資金提供を継続できない理由はないと言います。

「共和党指導部の誰もウクライナへの援助の終了を求めている」と共和党のマイク・ターナー議員は月曜日に言った。「共和党側の人々は、『なぜウクライナに80億ドルを送るのに400億ドルのパッケージを可決しなければならないのか』と言っています。」

アンダース・ハグストロムは、フォックスニュースデジタルのレポーターであり、国政や主要なニュース速報イベントをカバーしています。



●ブルガリアでウクライナへの武器供与反対デモ(2022年11月27)

<https://twitter.com/i/status/1596758989043531777>

ブルガリアの20以上の都市で、ウクライナへの武器供与に反対するデモが行われた。

ブルガリア国民はウクへの武器供与に断固として反対する。アメリカとヨーロッパはすでに兵器が空だ。しかし米国はロシアとの戦争を望んでいる。「私たちは今、世界を守っているロシアと共にある」とデモ参加者。

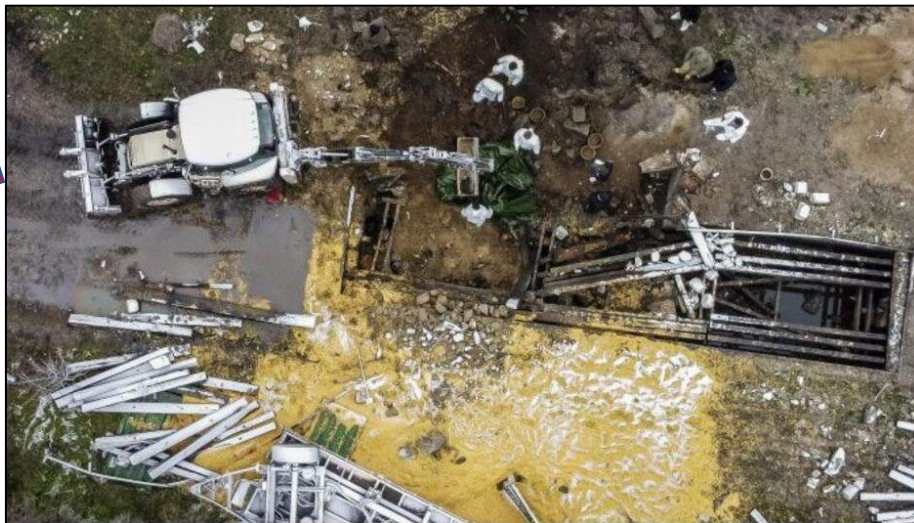


●ポーランド着弾ミサイルは、ウクライナの意図的発射(2022年11月27日)

ウクライナのミサイルは誤ってポーランドに落下したのではない
スペインの出版社リベリオンはウクが NATO の集団安全保障機構を作動させる為にポーランドに向けて故意にミサイルを発射したと主張しています。

幸いな事にワシントンのタカ派でさえキエフの妄想だけの為に三次大戦には突入させなかった。

※安齋注:ウクライナの攻撃であることは明白ですが、外国メディアも言い出しました。



●ライプツィヒで大規模デモ(2022年11月27日)

集合場所は米国総領事館前です。

”世界が再び燃え上がり西側帝国主義が火を噴き、西側と東側のブロックの衝突が世界戦争を引き起こしかねない現在、この要求はこれまで以上に重要である。

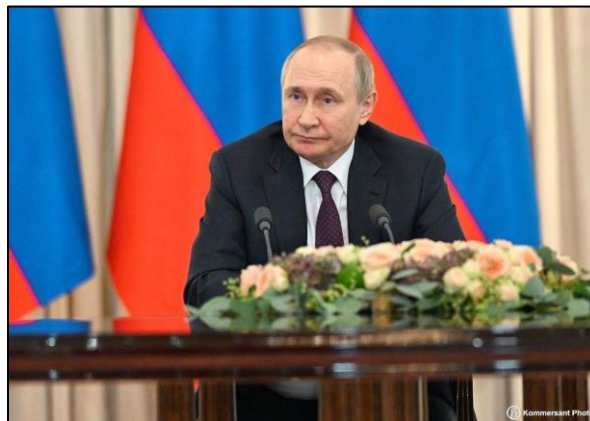
占領軍の橋頭堡にはなりたくない。中立ドイツでありたいのだ！

<https://twitter.com/i/status/1596759170312966144>



●11月25日の安保理後のプーチンのコメント(2022年11月28日)

プーチンは金曜日の安保理会議の後、ウクライナでの特別軍事作戦について概説した。「ロシアはウクライナ人と戦っているのではなく、彼らを大砲の餌食として利用している人々と戦っている私達はネオナチ政権に対処していると確信している」と彼は述べた。



●BRICs の役割の増大(2022年11月28日)

西側諸国の経済が衰退する中、世界の舞台での BRICS の役割は日々増大しています。多くの国、OPEC や OECD の加盟国でさえ、BRICS が提供する安定性に関心を持っていると、BRICS 国際フォーラムのプレジデントである Purnima Anand 氏は今週 RT に独占的に語った。

彼女は、「今は権力が西から東に移っている時です」と述べ、「西側の経済と民主主義プロセスの別のモデルを開発したくはありません。すべてのメンバーが平等な権利を持つ新しいモデルを望んでいます」と付け加えました。そして一緒に成長する機会。」



●元米海兵隊員の証言(2022年11月28日)

ウクライナに提供された武器の大部分は転売されているようです！

大型武器のハイマースはロシア軍に破壊され、小型の武器は転売されているのが実情です。どおりでウクライナ軍が武器不足に悩んでいる訳ですね。

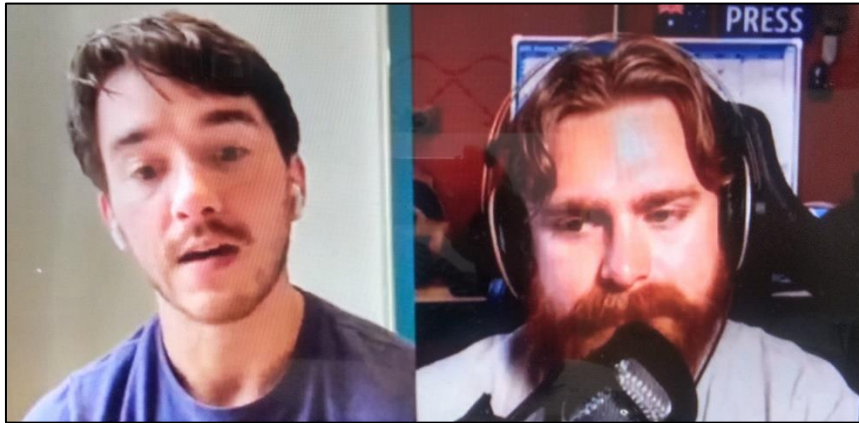
元アメリカ海兵隊員でウクライナ国際部隊のメンバーである彼は、今年 11 月、ウクライナ軍の腐敗について語った。

彼は、西側から提供された対戦車兵器が、バンからバンへと秘密裡に運ばれ、汚い取引をしているのを直接目撃している。

これらの兵器は闇市場で売られているというのが一般的な見方で、現地にいた米国当局者も「低レベル」の汚職を認めている。

アメリカやヨーロッパの納税者が提供し、ウクライナ人が盗むという構図を、彼は多くの外国人ボランティアにインタビューし、同じような証言を得たと指摘する。

<https://twitter.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1596993680388554752?t=1-myLwbkKRc4ElWJMQuiWg&s=09>



●ロシア特別作戦は米国軍産複合体の武器・弾薬枯渇問題を明らかにした(2022年1月27日)

<http://eritokyo.jp/independent/Ukraines-war-situation-aow2032.html?s=09>

米国は、キーウに引き渡すためのハイテク兵器システムと弾薬を使い果たしていると、軍事機密にアクセスできる 3 人の米国当局者が CNN に語った。ペンタゴンの 155 mm 砲弾、スティンガー携帯型防空システム、HARM 対レーダー ミサイル、GMLRS 地対地ミサイル、ジャベリン対戦車ミサイルの備蓄は終わりに近づいている。

アメリカの防衛企業は、これらの兵器やその他の兵器の生産を増やそうとしているが、これには大きな問題があり、近い将来に解決することはできない。

米国の防衛産業における問題は非常に深刻であるため、2022年2月2日付の報告書で、米国の防衛産業協会 (NDIA) は、ここ数年で初めて、米国の軍産複合体全体に不十分な評価を与えた。

NDIA は、米軍の産業基地を8つのカテゴリに格付けし、それぞれのカテゴリを 0 から 100 までのスコアで評価します。70 未満のスコアは失敗と見なされます。現在、アメリカの防衛産業の総合評価は 69 に下がっている。

生産能力と急速な成長に対する企業の準備のカテゴリーでは、状況は非常に悪い。2019 年、

NDIA はこのカテゴリに 80 ポイントを与えた。2020 年にはスコアが 52 ポイントに低下し、2021 年の初めには「非常に不十分」な 48 ポイントになり、2021 年末には 20 ポイントになった。予想外のショックであった。そして、正確には、ポイントは何であろうか？

どうやら、彼らがペンタゴンで盗んだという事実で、彼ら自身がどれだけ盗んだかさえわからないようである。

米国防総省は 5 回目の監査に失敗し、その資産の半分以上を説明できなかったが、最高財務責任者によると、「これらの努力は教訓と見なされている」。

1,600 人の監査人が国防総省の 3.5 兆ドルの資産と 3.7 兆ドルの負債を監査した後、当局は国防総省がその資産の約 61% を説明できないことを発見したと、国防総省のマイク・マッコード長官は記者団に次のように語った。

このプロセスは私たちにとって重要であり、私たちがより良くなるのに役立つ。望むほど早く回復することはないと彼は述べた。

何兆ドルも行方不明で、誰も責任を負っていない！

国防総省政務次官コリン・カールは、ジャーナリスト向けの説明会で、武器と軍事装備の備蓄が不足していることについて、かなり不器用な言い訳をした。米国とその同盟国。ほら、これは数十年で初めて、実際に非常に激しい従来型の紛争が発生し、関係国だけでなく、支援する人々、この場合は支援する人々のウクライナ防衛産業基盤にも負担がかかっている。」

ウクライナへのすべての軍事援助が 400 億ドルを超えず、ほぼ 8 兆ドルが国防総省の灰色の計画から消えたことを考えると、軍高官のこれらの口実は幼稚なせせらぎのように聞こえる。

彼の弁護において、カールは、米国の防衛産業基盤がより機敏で応答性を高めることができることを証明するために、まだやるべきことがたくさんあると付け加えました。(レスポンス)。

戦略国際問題研究所の上級顧問であるマーク・カンシアンは、米国は「米国がその戦闘能力を損なうことなく提供する準備ができている限界に近い 155mm 榴弾砲用の弾薬の備蓄を持っている」と述べている。

同時に、彼は「さらに十数カ国が同じ弾薬を供給でき、グローバル市場のおかげで、ウクライナが必要とするものに制約を受ける可能性は低い」と考えている。言い換えれば、米国は、防衛産業を奪われたウクライナへの軍事援助の重荷を他人の肩に移している。

アメリカの防衛産業に蔓延している汚職や平凡な窃盗についてではなく、主に過去 20 年間で、私たちが書いたように、アメリカの防衛産業がかなり吹き飛ばされてきたという事実についている。そして、レスコフスキー・レフシャが言うように、純粋に「技術的に」1 兆ドルの盗難が起こらなかったとしても、米国はもはや原則としてウクライナが必要とする武器を生産することはできないのだ。

米国での悪名高いジャベリンのリリースは、年間 1 万台から 2,000 台に5分の1に減少した。エンジニアは逃げた。工場の能力が十分ではない。「ジャベリン対戦車ミサイルとスティンガー対空ミサイルが、潜在的な脆弱性と供給の問題に満ちた時代遅れで信頼性の低い製造インフラによって支えられていることに気付いている人はほとんどいない」とフォーブスは書いている。

スティンガーとジャベリンの弾頭は、アイオワ州ミドルトンの町で 1941 年に建設された1つの古い工場でのみ製造されている。それ以来、このプラントには 1 セントも投資されていない。弾頭は手作業で組み立てられ、産業用ロボットを使用することは不可能である。毎年、いくつかの事故や爆発がある。



●ドイツ人がウクライナ支援に背を向ける理由(2022年11月28日)

<https://twitter.com/TeiichiAoyama/status/1597048847028871168/photo/1>

ワシントン・ポスト世論調査；
**ドイツ人、反軍国主義で
ウクライナ支援に背を向ける**
Germans turned against backing Ukraine by anti-militarism – poll
RT War in Ukraine #2036 27 Nov 2022
翻訳 青山貞一 (東京都市大学名誉教授)
独立系メディア E-wave Tokyo 2022年11月28日



ドイツ人は反軍国主義によってウクライナを支持することに反対した - 世論調査 ハンブルグ
市からウクライナに送られた援助 © Getty Images / Markus Scholz

ドイツ人は軍国主義に反対して、ウクライナを支持することに反対した - 世論調査
回答者の 54% が、ベルリンはキーウへの支持を増やす必要はないと答えたことが、ワシントン・ポストの調査で明らかになった。

ワシントンポストが実施した最近の世論調査によると、ロシアの石油とガスに対する制裁によって引き起こされたエネルギー価格の高騰は、進行中の紛争でウクライナを支援することにドイツ人が幻滅

した主な要因ではない。

代わりに、アウトレットは、第二次世界大戦での国の敗北後に根付いた軍事介入に対する一般的な嫌悪感を発見しました。

ドイツの回答者の大多数(91%)がウクライナに同情を表明したが、半数以上(54%)が軍事および人道支援に関して十分(37%)または多すぎる(17%)と答えた。

報道機関はドイツ人に4つの具体的な政策について質問し、「たとえこれらの制裁が食料とガスの価格のさらなる上昇につながる可能性があるとしても、ロシアとプーチンに対する制裁の強化」に対する国民の支持を測ることを望んでおり、より多くのミサイルやその他の軍事援助を歓迎し、より多くの難民を「たとえそれが経済に追加の負担を課したとしても」、軍事的に国を守る必要があるとしても、ウクライナを NATO に認めること。

調査対象者の約 3 分の 1 がそれぞれの政策に反対したが、支持を表明した人々は特に熱心ではなく、かつて社会主義だった国の東側と西側の間で感情に大きな隔たりがあった。東ドイツ人の半分以上(52%)が、ウクライナへの軍事援助の増加に反対すると答えたのに対し、西ドイツ人ではわずか 27% でした。

ドイツ人がウクライナの軍事力を強化することに消極的であることを説明しようとして、ポストは、第二次世界大戦後の一般的な反軍事的態度がその理由の1つかもしいと主張した。

この新聞は、ベルリンが軍隊と資源を提供した NATO が承認した介入でさえ、短期間の公的支援の後、ドイツ市民の間で非常に不人気であることが証明されたと指摘した。

しかし、ベルリンは、ロシアとの紛争中のキーウの強力な支援者の1つであり、先月、最先端の IRIS-T 防空システムの最初のユニットをウクライナ軍に供給した。指揮車、レーダー車、トラック搭載ランチャーで構成されるさらに3つのユニットが、2023年に同国に到着する予定である。

一方、ドイツ軍はまだ地上配備型の IRIS-T システムを受け取っていないため、一部の政治家は、ドイツが自国の防衛能力を犠牲にしてウクライナを武装させているのではないかという懸念を表明している。

●ロシア軍ドネツクで約 100 人の外国人傭兵を殲滅(2022年11月27日)

ロシア国防省報道部は、ドネツク人民共和国領内のロシア軍が、最大 100 人の外国人傭兵を排除することに成功したと報じた。

ドネツク人民共和国にあるチャソフ・ヤル集落の近くに一時的に配備された外国人傭兵は高精度の武器で破壊された。

また、ロシア軍は高精度な武器で 6 台の装甲車を排除した。

ロシアは 2 月 24 日からウクライナ領内で特殊作戦を展開している。先にニューヨーク・タイムズ紙は、NATO 加盟国 30 カ国のうち 20 カ国がウクライナに武器を供給することができなくなったと報じた。

ロシア軍;ドネツクで外人部隊拠点攻撃(TASS 通信)

11 月 27 日 /TASS/. ロシア軍は、ドネツク人民共和国領でいわゆる外人部隊の拠点に対する攻撃を行い、ドニプロ市付近で HIMARS マルチロケットランチャーの弾薬がある倉庫を破壊した。ロシア国防省は日曜日、記者団にこう語った。

ロシア国防省が日曜日に発表したところによると、ロシア軍はドニプロ近郊の倉庫を破壊し、そこに HIMARS マルチロケットランチャー用の砲弾 100 発以上と外国製の大口徑弾薬 7000 発以上を保

管していたとのこと。土曜日に、同省はザポリジヤ州のクシュグム村付近で HIMARS の弾薬庫が破壊されたと報告しました。

さらに、ロシア航空軍は、ドネツク人民共和国領のチャソフ・ヤール付近で、いわゆる外人部隊の一時的な展開地点を攻撃した。同省は、ウクライナ側の損失は死者最大 100 人、装甲車 6 台と推定している。

ロシア国防省によると、ウクライナの攻撃は、クピャンスク、クラスノリマンスク、ドネツク、ドネツク南部の 4 方向で撃退されたという。その結果、キエフは合計約 400 人の兵士と 6 台の戦車を含む 50 台の車両を失ったと同省は発表した。



●バイデンがウクライナ紛争を意図的に引きずっていると(タッカー・カールソン、2022年11月28日)

Fox ニュースのアンカー、タッカー・カールソン(Tucker Carlson)は、米国大統領のジョーバイデン政権は、気候変動問題を利用してウクライナ紛争を意図的に引き延ばしていると述べたと RIA Novosti は報じた。

「これらの政策はどれもアメリカ国民のためになるものではない。エネルギーコストを上げ、現在の権力者を強化し、もちろん彼らを豊かにするために設計されている」とカールソンは言う。

彼によると、アメリカの指導者の政策は、アメリカ経済の崩壊だけでなく、この国の中産階級の貧困につながる。その背景には、エネルギー資源の高コスト化がある。

アメリカ経済はエネルギーに直接依存しており、高価な資源は貧困や死につながることを、司会者は思い起こさせた。同時に、ウクライナ紛争を終結させることが、ほとんどの問題を解決する唯一の方法である。

「世界」と「中産階級」を救う。

しかし、バイデン政権は解決策を模索しているわけではない。それどころか、ますます貧しくなるアメリカの中産階級から、少しでも多くのお金を搾り取ろうと考えている」とカールソンは言う。

